

四三六一番

桜花さくらばな 今盛りなりいまさか 難波の海なには うみ おしてる宮みやに

聞きこしめすなへ

四三六二番

海原うなはらの ゆたけき見みつつ 葦あしが散ちる 難波なにはに年としは

経へぬべく思おもほゆ

四三六三番

難波津なにはつに み舟ふねお下ろすゑ 八十やそ梶かぬ貫ぬき 今いまは漕こぎ

ぬと 妹いもに告つげこそ

四三六四番

防人さきむりに 立たたむ騒さわきに 家いへの妹いむが 業なるべきこと

を 言いはず来きぬかも